



# 鶴望野 だより

## 2022年 第147号

発行元：社会医療法人長門英記念会 介護老人保健施設 鶴望野 〒876-0835 大分県佐伯市鶴岡町1丁目11番59号

### 謹賀新年



明けましておめでとうございます。新たな年を迎えて拙文にてご挨拶申し上げます。いささか昔話になりますが、行政改革による省庁統合で厚生労働省が発足したのが平成13年(2001年)、その約15年前の昭和60年(1985年)に旧厚生省社会保障審議会において高齢者療養「中間施設」は「医療面のサービスと福祉面のサービスが一体として提供される事が不可欠」という方向性示され、翌年の老人保健法改正により在宅施設として老人保健施設が具体化されました。当施設は平成6年(1994年)の開設、平成12年(2000年)に介護保険がスタートからは介護老人保健施設として「医療・保険・福祉の心が重なったところ」の役割を担っています。

さて私自身は平成11年佐伯市大入島診療所に赴任、介護保険創生期にあたり介護支援専門員取得、かかりつけ医意見書の作成、介護認定審査委員を経験しました。今回20年ぶりの当地での勤務です。二昔(ふたむかし)の間に介護保険制度は莫大かつ詳細な規定と変更が積み上げられ、理念と現場のあり方も変貌しました。佐伯の町並みも道路も以前とは大きく変わりましたが、しかし佐伯の街の皆さんの温かい心や経済基盤の厚みは変わらぬように感じます。新型コロナウイルス対策も3年目に入り、入所者ご家族、そして当施設職員にも様々な面で不自由が強いられております。しかし治療や予防については格段の進歩があり、現在の暗い月日が永遠に続くことは決してなく、日々地道な感染対策の継続がいつか明るい出口につながるかと信じております。

鶴髪童顔(鶴の羽毛のように真っ白な髪で血色のいい顔)の鬘(かくしゃく)とした松下施設長と共に、健康を支える医療、適切なサービスを提供する保健、在宅にあるような居住環境の福祉を実現する場である当施設で末永くお付き合いのほどお願い申し上げます。



令和四年 元旦  
介護老人保健施設 鶴望野  
医師 工藤 政信 拝



### 正月行事



一昨年は餅つきが行えませんでした。昨年(2021年)の年末はコロナウイルスが落ちていたが、無事に餅つきを行う事が出来ました。2Fのホールで餅つきをしたのですが、お餅を打つ音が事務室まで響いていました。ついた餅はお正月用の鏡餅になったので鏡開きが楽しみです。

又、恒例行事になりつつある、しめ縄作りも年末に行いました。皆さん、職員と一緒に上手に編んでくださり、飾りつけもバッチリです。無事に年を越すための準備が行えました。

正月が明けてからは皆さんに書き初めを行って頂いて、各々好きな文字を書かれており、各階のホールに飾らせて頂いています。

獅子舞も行つ予定でしたが、年始から再度、コロナウイルスの感染が広がりにつつある状況もあり、獅子は踊らずに記念の写真撮影のみ行っています。獅子舞は疫病から人々を守る為に行われるのが始まりとされているので、コロナウイルスを追い払ってくれるといいな...と思います。



### 鶴望野祭



11月17日に約2年ぶりとなる鶴望野祭をおこないました。鶴望野では異動等で来た職員が挨拶も兼ねて出し物を鶴望野祭で披露しています。約2年ぶりの開催なので今回は総勢8名という大人数で劇「おおきなかぶ」を行いました。他にも体をほぐす体操や秋にちなんだ歌を歌い、おやつにパンケーキを提供して食べて頂いて皆さん楽しんで過ごされました。

准看護師  
**飛高 裕子**  
10月1日より5病棟から異動となりました。飛高です。施設で働くのは初めてですが、毎日楽しく皆様に過ごしていきたいと思っております。宜しくお願い致します。

**職員紹介**



### 後編集

→明けましておめでとうございます。今年(2022年)は寅年です。寅年には寅と同じ読み「延」から「延ばす・成長する」という意味があるようです。この2つの組み合わせである壬寅は「新しく立ち上がる事」、「生まれたものが成長すること」といった意味がある様なので今年(2022年)は成長できる一年にしていきたいと思っております。